

獣害対策の再考 ～再造林を着実に進めるために～

1 テーマの趣旨・目的

主伐期を迎えた森林が増え、木材生産及び将来の資源の平準化等を目指して、県では主伐再造林を推進しており、当管内でも、平成29年度以降、毎年数haずつ主伐再造林を実施している。全ての再造林地で植栽木の獣害対策を実施したが、ヒノキ+単木保護材の組み合わせに課題が見られたため、着実な再造林を進めるために現段階で最善な獣害対策が選択されるよう再考した。

2 現状及びこれまでの取組の成果・課題

(1) 現状

当管内では、以下に示すとおり、主伐再造林及び植栽木の獣害対策を実施している。事業主体である陶都森林組合では、令和2年度以前は防護柵を施工していたが、令和3年度から施工性の良さやウサギの食害対策に効果的であることから、単木保護材に切り替えた。

★：課題発生箇所

植栽年度	市町村	経営計画	樹種	獣害対策	面積(ha)	本数
29	瑞浪市	論析	ヒノキ	防護柵	3.08	9,240
			コナラ		0.45	675
30	瑞浪市	論析	スギ	防護柵	0.40	1,400
30	多治見市	富士見	ヒノキ	防護柵	4.91	15,500
1	瑞浪市	霜向	ヒノキ	防護柵	1.50	3,750
2	瑞浪市	日吉東部	ヒノキ	防護柵	4.61	11,800
2	瑞浪市	割山	ヒノキ	防護柵	3.92	10,800
3	土岐市	石砂酒	ヒノキ	★単木保護材	1.61	4,120
3	瑞浪市	東高路	ヒノキ	★単木保護材	3.48	8,900
4	瑞浪市	東高路	ヒノキ	★単木保護材	0.87	2,400
5	瑞浪市	日吉東部	針葉樹・広葉樹	単木保護材	0.15	150
5	瑞浪市	日吉北中部	広葉樹	単木保護材	0.39	390
5	瑞浪市	大湫	広葉樹	単木保護材	0.32	320
5	土岐市	東山	ヒノキ	★単木保護材	1.36	4,080
6	土岐市	東山	ヒノキ	防護柵	5.04	15,670

しかし、令和3年度に施工した瑞浪市稲津町小里（東高路団地）の単木保護材がニホンジカに倒伏させられ、令和6年度に食害を受けた。森林組合では、年1回の見回り時に倒伏を修復してきたが、当地では年々倒伏の被害が増え、修復が追いつかなくなってきた。さらに、単木保護材が外れた植栽木（ヒノキコンテナ苗）に樹形異常（右上画像）が確認されたため、令和7年5月に単木保護資材の中を調査したところ、倒伏の有無に関わら

ず4割以上の植栽木に樹形異常が発生していた。

森林組合は、樹形異常を重く受け止め、獣害対策を見直し、単木保護材から防護柵へ再度切り替えたいと考えた。しかし、二者択一ではなく、単木保護材に適応する樹種、維持管理や撤去時のコストを踏まえ、箇所ごとにより最適な対策を選択する必要がある。



(2) 取組内容と成果

①令和7年7月に、H29年度以降の全造林地を対象に、防護柵と単木保護材の状況及び植栽木の状況を調査した。

- ・R2年度までに防護柵を施工した造林地は問題なく生長していた。

- ・R5年度に単木保護材を施工した広葉樹は問題なく生長し、植栽後2年で2m近い樹高となっていた（右画像）。

- ・ヒノキに単木保護材を施工した高路団地以外の2か所（R3土岐市石砂酒、R5土岐市東山）においても、程度は異なるが樹形異常が見られた。



このことから、広葉樹に関しては単木保護材も可、ヒノキに関しては単木保護材から防護柵に再度切り替えることが最善であると考えられた。

②防護柵を選択していた令和2年度以前は、当地域のニホンジカ生息密度が低いと考えられていたが、近年は増加傾向にある。

瑞浪市内のニホンジカ有害鳥獣捕獲数
（瑞浪市鳥獣被害防止計画より）

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
8頭	8頭	12頭	61頭	107頭

ヒノキ再造林地を防護柵に切り替えるとしても、適切な施工及び維持管理の重要性が増していることから、森林組合に対し、下記の観点で防護柵等維持管理計画の作成を指導した。

- ・施工地ごとにチェックポイントが一目でわかるように平面図に記載する。
- ・これまで年1回の見回り（下刈り時のみ）を実施していたが、4半期に1度の見回り（下刈り時（7月頃）、台風後（10月頃）、餌の少ない冬季（1月頃）、芽吹き頃（4月頃））とし、作業道点検等とともにルーティンワークに組み込む。
- ・単木保護材もニホンジカによる倒伏の可能性があるので定期的に見回る。

（3）課題

- ア) 効率的かつ効果的な柵の設置および維持管理の実行
- イ) 有害鳥獣対策関係者との連携による再造林地での捕獲

3 今後取組むべき内容

- ア) 効率的かつ効果的な設置及び維持管理の実行

① 具体的手法又は検討方法

- ・4半期に1度の見回りの状況を都度確認する。
- ・単木保護材を施工した広葉樹の経過観察、外すタイミングを検討する。
- ・R8年度春植え予定の再造林地があるため、樹種選定、防護柵の設置箇所、下刈り方針も含めたデザインを森林組合のプランナーとともに検討する。

② 理由

事業主体（森林組合）が出来る最善の策を取ったうえで、市に支援策を講じてもらう必要がある。

③ 期待する成果（目標数値等を定めた場合はその内容を含む。）

森林環境譲与税を活用した、市による再造林支援策の実施

- イ) 有害鳥獣対策関係者との連携による再造林地での捕獲

① 具体的手法又は検討方法

瑞浪市鳥獣被害防止計画に再造林地の被害対策の必要性について追記してもらい、市農林課及び有害鳥獣対策関係者に理解と協力を求める。

② 理由

地域の実情を把握している市の協力は不可欠である。

③ 期待する成果（目標数値等を定めた場合はその内容を含む。）

再造林地でのニホンジカ捕獲の実行による被害の軽減